

平成26年12月10日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

12月10日の弊社投資信託の基準価額の下落について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

足許の市場動向と弊社投資信託への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 弊社投資信託への影響

ファンド名	平成26年 12月9日 基準価額 (円)	平成26年 12月10日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
コスモ・中国株厳選ファンド	13,125	12,438	▲687	▲5.23
中国株厳選ファンド3ヵ月決算型	11,790	11,177	▲613	▲5.20
中国A株ファンド	9,064	8,537	▲527	▲5.81

(小数点第3位以下四捨五入)

◆ 市況情報

	平成26年12月8日	平成26年12月9日	騰落率 (%)
香港ハンセン指数	24,047.67	23,485.83	▲2.34
ハンセン中国企業株指数(H株指数)	11,873.41	11,332.92	▲4.55
上海A株指数	3,164.31	2,992.12	▲5.44
深センA株指数	1,532.70	1,466.38	▲4.33

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、12月8日と12月9日を比較しています。

(小数点第3位以下四捨五入)

	平成 26 年 12 月 9 日	平成 26 年 12 月 10 日	騰落率 (%)
香港ドル	15.61	15.41	▲1.28
人民元	19.61	19.31	▲1.53

為替レートは対顧客公示相場の仲値

(小数点第3位以下四捨五入)

出所:ブルームバーグ

- 文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。海外株式市場のデータは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

◆ 足許の市場動向

9日の香港及び中国の株式市場は、軟調な展開となりました。その背景として、中国当局が短期融資に関する担保規定を厳格化する措置に出たことをきっかけに、債券や人民元が下落し中国経済の減速懸念が広がったこと、12月に入り中国株式が急ピッチで上昇したことに対する高値警戒感を抱く投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどが考えられます。

こうした投資環境下、弊社が設定・運用しております香港あるいは中国の株式を主要投資対象とする前記ファンドの基準価額は記載の通りの下落となりました。

◆ 今後の見通し

香港株式市場

中国人民銀行は先月、貸出金利を0.40%、預金金利を0.25%引き下げるという予想外の金融緩和を発表しました。香港市場は潤沢な流動性が維持されており、中国政府が景気の挺入れのため、更なる景気刺激策を打出すことが予想されること、国内景気を活性化させるために国有企業改革などを推し進めていくことが期待できることなどから、底堅い展開が続くと考えています。

中国A株市場

中国A株市場は、短期的には利益確定売りが出る局面も想定されますが、中国政府が国内景気を活性化させるために国有企業改革などを推し進めていること、中国人民銀行が金融緩和のサイクルに入っていること、香港・上海株式相互取引の解禁により、海外の資金がこれまで以上に上海市場に流入することが期待できることなどから、底堅い展開が続くと考えています。

以上

当資料はT&Dアセットマネジメントが受益者の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.32%(税込)

信託財産留保額・・・上限 3.0%

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 2.052%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

*詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。